

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設名	長崎すくすくナーサリー
施設所在地	東京都豊島区長崎 5 丁目9番15号 ベルメゾン長崎105号室
法人名	長崎すくすくナーサリー合同会社

1、活動のテーマ

<活動のテーマ>

形く遊びの中から様々な形を発見し～表現遊びに展開>

<テーマの設定理由>

公園に出かけると虫や木の実、葉っぱなどを拾い集め帰園する。中でも石拾いが気に入ってたくさんの石を集めてきた。職員が「色を塗って見ない」と呼びかけ色付けが始まった。すると子ども自ら「何に見える?」と問いかけ「△さんかく」「○だよ」と言い始めた。午睡時に保育者同士が「形に興味あるよね」「これは△だよと教えてくれる子もいます」との話し合いから、「形」を遊びの中で広げ、さらに新しい発見を繰り返しながら、探求して表現遊びに展開できたらと考えた。

2、活動スケジュール

11月	12月	1月	2月
○△□の形をマグネットボードで遊んだり絵本	丸い物○、三角△ 四角い物□を見つけたらデジカ	ライトテーブルに形を置いたり、絵	○△□の歌に自分達で振付を考えてみよ

で形を見つけてみる。	メで記録する。	本で形をかくにんする。	う。
散歩に出かけて自然の中に○△□☆♡の形があるかを見つける。	見つけてきた○△の写真を仲間同士に分けてみる		
自分で切った紙を糊で思い思いに好きな形に貼ってみる。	ハサミを使って○△□の形を切って遊ぶ。	散歩に出かけて自然の中に○△□を見つける	

3、活動のために準備した素材や、道具、環境の設定

ライトテーブルとカラーファイル
マグネットボードとダンボールを切り抜いて裏側にマグネットを張ったいろいろな形
絵本や素材でいつでも製作や遊びができるテーブル
デジカメ、発表用プロジェクター

4、研究活動の実践

<活動の内容>

マグネットボードに形を並べて遊んでいたが、形の絵本や紙芝居でさらに興味を深まり、散歩で形探しを始めると探究心は加速した。ハサミで形を切ってみたりパズルで遊んだり子どもたちの興味は広がっていった。散歩では形探しをし、写真を撮って記録し、形に分類しようと大きな紙に貼った。いろいろな方向から貼ったことで、分

類ができないと子どもたちから疑問が湧いた。子どもと保育者はどうしたら仲間同士に分類できるのか話し合い解決策を導き出した。様々な「形」に関する作業を繰り返し、最後は大きくなったね会で子どもと一緒に考えたダンスを発表した。

11/27 お話の会の紙芝居では「まるだよ。」「さんかく！」と大声で答える子がいた。



12/6 散歩で「これ〇じゃない？」「丸だ」とマンホールと植木をみつけた。



12/12 撮りためた写真を形ごとに分けた。はじめに話し合って大きな紙に貼ることにした。しばらく張っていると子どもが「どこにはるの？」と言って「なんか貼れない」「どこ？」いろいろな場所から貼って、分類できなくなってしまった。








12/13〇△◇をはさみで切って、年賀状の製作をした



12/20 形の夢中になって今日も形を探して公園まで来ると、停車している車のタイヤを発見。「〇だよ！」



<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
11/4 お話の会で絵本を読んでいたとき、形の穴が開いている絵本に興味津々！「これなに」と何度も繰り返していた。	
11/13 マグネットボードで早速形遊びが始まった。「ちょっと手伝って」「そこにおいて」と子ども通し声を掛け合いながら遊んでいる。	
11/15 形を探しに散歩に出かけた。帰ってくると絵本で確認していた	 
11/19 〇に紙をきった。その後干支の蛇に糊付けして飾った。	

12/28 みんなで話し合っ
て壁に貼ることにした。○△
□の形が貼ってあるところ
に「しってるから」といい
ながら貼った。



1/7 形探して八百屋さん
で○発見。花壇では街路
灯口発見。道路の斜線が△
なのも発見！



1/22 ライトテーブルを出
すと、今までとは違った
並べ方をして遊んでいた。
重ねて顔を作り始めた。
テーブルでも形遊びが始
まった。マグネットボード
では立体的な遊びが始ま
っていた。



2/4 大きくなったね会で○
△□プログラムを発表し
たいと話した。「何がいい
と思う?」「ダンスとかは
?」すると子どもたちは
「○△□」の歌を歌いなが
らジャンプしていた。



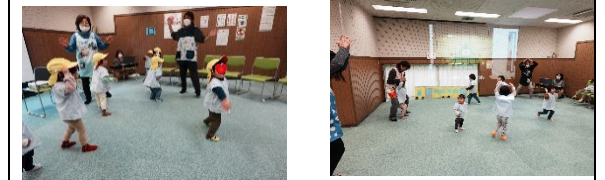
登場方法を尋ねると「しゅ
っぽは?」「どうするの?
」と尋ねると「こうする」
と説明してくれた。「何線
にする?」子どもから「西
武線!」。段ボールに黄色
の紙を貼って窓やドアは
子どもたちが仕上げた。



2/19 パズル遊びをした。
形の上に同じ形を置いて
遊んでいた。



2/28 「○△□」の歌に
子どもと一緒に振り付け
をした。



3月大きくなったね会で
保護者に「形」について
の取り組みを子どものダン
スと映像で発表した。



5. 振り返りによって得た先生の気づき

子どもの声に注目してプログラムを組み立てることを第一に考えた。保育者は繰り返し話し合い、情報共有に努めた。形の分類のところでは課題解決に子どもなりの発想を広げ、子どもの力が発揮された。ダンスの歌は保育者が選定したが、こちらの投げかけた「○ってどんな形?どうやるの?」の質問にダンスで表現した。

子どもの声を聴くことから表現活動に展開し実践することはかなり工夫が必要であったが、ベテランと中堅保育者が協同して作り上げることで課題解決ができた。

